

**製品名: PRKACA ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21423**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:40kD;Observed MW:40kD

**抗原情報**

遺伝子名	PRKACA
別名	PRKACA;PKACA;cAMP-dependent protein kinase catalytic subunit alpha;PKA C-alpha
遺伝子 ID	5566.0
SwissProt ID	P17612
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

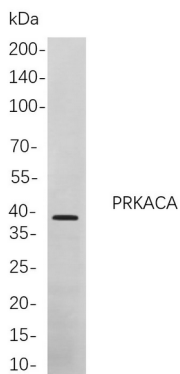
細胞局在: 細胞質、膜。この遺伝子は、プロテインキナーゼ A の触媒サブユニットの 1 つをコードしています。この遺伝子は、不活

性型では、2つの調節サブユニットと2つの触媒サブユニットからなる四量体ホロ酵素として存在します。cAMPは、不活性型ホロ酵素を、4つのcAMPと2つの遊離単量体触媒サブユニットに結合した調節サブユニットの二量体へと解離させます。ヒトでは、4つの異なる調節サブユニットと3つの触媒サブユニットが同定されています。プロテインキナーゼAによるcAMP依存性タンパク質リン酸化は、分化、増殖、アポトーシスなど、多くの細胞プロセスにとって重要です。体細胞変異、またはこの遺伝子を含む領域のゲノム重複によって引き起こされるこの遺伝子の恒常的活性化は、副腎皮質の過形成および腺腫と関連しており、副腎皮質刺激ホルモン非依存性クッシング症候群と関連付けられています。

## 研究分野

-

## 画像データ



PRKACA ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。